

第27回 天文文化研究会

The 27th Workshop on Cultural Studies of Astronomy

2024年7月7日（日）9時50分開始，17時30分頃終了

@大阪工業大学梅田キャンパス または オンライン参加形式

(2024-0704版 ver 3)

本研究会のページ

<https://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/20240707/index.html>

会場参加の方へ

- ★ 会場は，大阪工業大学梅田キャンパス（大阪市北区茶屋町1番45号，7ページに地図あり）です。10階1004教室です。（前回と異なります）
<https://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>
- ★ 氏名を1階エレベータ前の守衛室に届けてありますので，「天文文化研究会参加」としてカードキーを受け取ってお進みください。
- ★ 昼食は，21階にレストランもありますが，ご持参されることをお勧めします。
- ★ 夕方の情報交換会にご参加の方は，お弁当代4000円を現金でご用意ください。
- ★ 大阪工業大学のwifiをご利用になれます。発表用のPCをご持参する場合は，zoomにつないでファイルを共有する形でお願いいたします。

オンライン参加の方へ

- ★ Zoomを用いて双方向の通信をします。Zoomのアプリケーションは無料で入手できます。
- ★ アクセス先はメールにてご案内したものをクリックしてください。
- ★ 聴講される方は，質問されるときのみカメラとマイクをオンにしてください。ご発表される方は，ご発表中はカメラとマイクをオンにしてください。
- ★ 画面説明は，8ページにあります。

Slack

- ★ 資料の共有などはSlackを用います。
ウェブブラウザ（Safari, Google Chrome, MS Edge, Firefoxなど）上で使えますが，PC用のアプリケーション Slack（無料）をインストールした方が，使い勝手がよいです。
- ★ Slackのアクセス先は，招待状をメールで送信しておりますので，そこからアクセスしてください。『#第27回天文文化研究会20240707』というチャンネルを用います。
- ★ 資料の共有のほか，質問，感想，情報提供など，なんでも書き込みを歓迎いたします。
- ★ 画面説明は，8ページにあります。

Zoom, Slackとも有料化され，使い勝手が以前と比べて若干制限されています。Slackの今回の研究会チャンネルへのアクセスは7月末までといたします。

第27回天文文化研究会プログラム

日時 2024年7月7日（日）

会場 大阪工業大学梅田キャンパス 10階1004教室

9:50 ご挨拶 Greetings

松浦 清（大阪工業大学，会場出席）

Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

----- Session 1 -----

10:00 [招待講演] 「ファン・ゴッホが見た星月夜」についての、ある別の視点 【50分+10分，会場】

[Invited] Another perspective on Van Gogh's "Starry Night"

石坂 千春（大阪市立科学館）

Chiharu Ishizaka (Osaka City Science Museum)

概要： ファン・ゴッホが描いた星空について、宇宙物理学者のルミネ氏が『ゴッホが見た星月夜』で天文学的に考察していますが、絵に描かれた星が何か分かったとして、ファン・ゴッホは、なぜそれを描いたのでしょうか？天文学的視点に、ある別の視点を加えて考えてみます。

11:00 菅原道真の画像と月 【40分+5分，会場】

Sugawarano Michizane with the moon, depicted in paintings and prints

松浦 清（大阪工業大学）

Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

概要： 学問の神としても崇敬を集める天神の画像は室町時代から江戸時代にかけて多数制作された。一方、同一視されることの多い菅原道真の画像も江戸時代以降に多数制作され、その中には月とともに描かれた作品もしばしば認められる。道真画像と月との関係について検討する。

11:45 天体中星儀の指時表（時刻決定盤面）について 【10分+5分，会場】

On the time-table of Tentai Chusei-Gi

真貝 寿明（大阪工業大学）

Hisaaki Shinkai (Osaka Inst. Tech.)

概要： 江戸時代の時刻は、不定時法が用いられていて、一刻の長さは季節によって変化した。天体中星儀は、夜空の星の位置から時刻を知る目的で足立信順が 1824 年に製作したものだ。南中した星から時刻を知ることができるような盤面(足立は指時表と名付けた)が付いた星座盤である。三重県津市井田文庫が所有する天体中星儀の現物を閲覧し、この器具の正確さを検討した。

12:00 (情報収集希望) 8世紀の日本で、どの程度日食、月食が予測できたのか 【5分，オンライン】

新田 伸也（筑波技術大学）

Shin'ya Nitta (Tsukuba U. Tech.)

昼休み

13:00 [招待講演] 日本天文学会「日本天文遺産」について【50分+10分, 会場】

[Invited] "Japan Astronomical Heritage" certified by the Astronomical Society of Japan

松尾 厚 (日本天文学会 天文遺産選考委員会)

Atsushi Matsuo (Astron. Soc. Japan, Comm. Selection of the "Japan Astronomical Heritage")

概要： 7年目を迎えた日本天文遺産の制度概要と、これまでの認定遺産について紹介します。

14:00 中国暦法の歴史と渋川春海の貞享暦【40分+5分, オンライン】

History of Chinese calendar and Joukyou calendar by SHIBUKAWA Harumi

竹迫 忍 (日本数学史学会)

Shinobu Takesako (Japanese Society for the History of Mathematics)

概要： 西洋天文学の影響を受ける前の中国暦法の歴史と基本的な計算法を紹介するとともに、そのほぼ最終形である授時暦と貞享暦での改良点を説明する。貞享暦は授時暦をもとに改良を加えた暦法であるが、これまで回回暦(イスラム暦)がその改良に用いられていたことは不明だった。また、これらの内容をもとに中国暦法が、西洋天文学による暦法に優ることができなかった理由を説明する。

11:45 星図・星座図の系譜【10分+5分, 会場】

Genealogy of star charts and constellation charts

真貝 寿明 (大阪工業大学)

Hisaaki Shinkai (Osaka Inst. Tech.)

概要： 日本で作成された星図・星座図の系譜を、中国や西洋から伝来した星図とともにたどる。星座図の特徴として、星座の向きが反転したものか正像か、赤道座標か黄道座標か、星の等級がどこまで表示されているか、等の分類で、伝播経路や時代区分が可能なことを論じる。

コーヒーブレイク

15:30 天文文化学の視点からニコライ・ネフスキーを考える【40分+5分, 会場】

Thinking about Николай Невский from the perspective of Cultural Astronomy

北尾 浩一 (星の伝承研究室)

Koichi Kitao (Star Lore Laboratory)

概要： ロシア人言語学者ニコライ・ネフスキーが記録した宮古島とアイヌの星名伝承について、天文文化学の視点から考える。特に、どのような時間軸、空間軸上での天体に関する認識が星名伝承を形成していったかについて注目する。

16:15 奄美与論島における十五夜の盗みの変容過程と地域的差異【10分+5分, 会場】

A study of changing process and regional differences of children' thieves at a full moon night in Yoron island

澤田 幸輝*・尾久土 正己** (*和歌山大学大学院観光学研究科, **奈良県立大学)
Kouki Sawada*, Masami Okyudo** (*Wakayama Univ., **Nara Pref. Univ.)

概要： 旧八月十五夜は、全国的に子どもたちが月に備えた団子や餅を盗む風習がある。しかし現在の十五夜の盗みは、日中に実践されるなど習俗が形骸化している向きがあり、すでに消滅した地域も少なくない。本報では、鹿児島県与論島における十五夜の盗みを事例に、当該習俗の変容過程を島の社会経済状況を踏まえながら検討するとともに、島内における習俗の地域的差異の様相を概観する。

16:30 山東京伝「昔話稲妻表紙」挿絵の彗星【10分+5分, 会場】

Comet in "Mukashi-Gatari Inazuma Byoushi (昔話稲妻表紙)" by Kyoden Santo (山東京伝)

玉澤 春史 (東京大学)
Harufumi Tamazawa (Univ. Tokyo)

概要： 山東京伝「昔話稲妻表紙」の中に梅津嘉門が母親と彗星を見るシーンがある。このシーンについての歴史天文および伝統的天文観からの分析を行う。

16:45 北海道地方の七夕ろうそくもらいとその伝播について【10分+5分, オンライン】

About the custom of receiving Tanabata candles and its origin

古屋 昌美
Masami Furuya

概要： 七夕の風習として近年知られてきた北海道を中心とした風習「ろうそくもらい」について、地域ごとの差異や北前船を介した伝播について紹介する。

17:00 科研費・挑戦的研究(開拓)「天文文化学の新展開：数理的手法の導入で文化史と科学論から自然観を捉える研究の加速(2024-2028)」の研究計画【会場】

The grant KAKENHI, "Advancements in the Field of Cultural Studies of Astronomy: Fostering cultural, historical, and scientific understanding of the view of nature applying mathematical approaches " (2024-2028)

松浦 清 (大阪工業大学)
Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

17:30 終了予定 (やや延長の可能性あり)

17:30 情報交換会

この研究会は、科研費・挑戦的研究(開拓)「天文文化学の新展開：数理的手法の導入で文化史と科学論から自然観を捉える研究の加速」(代表・松浦清, 2024-2028)のサポートを受けて開催しています。

参加登録者リスト（敬称略，五十音順）7月4日現在 20+59=79名

**** 会場参加 ****（*情報交換会も参加 13名）

青木 俊夫	Toshio Aoki	株式会社テクノアソシエ
石坂 千春	Chiharu Ishizaka	大阪市立科学館
今谷 拓郎	Takuro Imatani	東亜天文学会/日本スペースガード協会
井村 誠*	Makoto Imura	大阪工業大学知的財産学部
大岩 雅典*	Masanori Oiwa	早稲田大学大学院文学研究科美術史学コース
北尾 浩一*	Kouichi Kitao	星の伝承研究室
澤田 幸輝	Koki Sawada	和歌山大学大学院 観光学研究科
清水 健	Ken Shimizu	東京国立博物館
城野 信一	Sin-iti Sirono	名古屋大学
真貝 寿明*	Hisaaki Shinkai	大阪工業大学情報科学部
玉澤 春史*	Harufumi Tamazawa	東京大学/京都市立芸術大学
田村 陽*	Akira Tamura	
鳥居 隆*	Takashi Torii	大阪工業大学RD学部
野村 敏郎*	Toshiro Nomura	東亜天文学会神戸支部 神戸女学院講師
松浦 清*	Kiyoshi Matsuura	大阪工業大学工学部
松尾 厚*	Atsushi Matsuo	元 山口県立博物館
山田 竜也*	Tatsuya Yamada	合同会社 渡鴉
横山 恵理*	Eri Yokoyama	大阪工業大学情報科学部
吉田 薫*	Kaoru Yoshida	日本スペースガード協会
米田 達郎	Tatsuro Yoneda	大阪工業大学工学部

**** オンライン参加 ****

青島 正和	Masakazu Aoshima	
Sang-Hyeon Ahn		KASI 韓国
稲垣 順也	Junya Inagaki	名古屋市科学館
岩橋 清美	Kiyomi Iwahashi	國學院大學文学部
岡崎 彰	Akira Okazaki	
乙井 遼平	Ryouhei Otsui	
小野里 宏樹	Hiroki Onozato	国立天文台
鎌野 健	Ken Kamano	大阪工業大学 RD学部
亀谷 收	Osamu Kameya	奥州宇宙遊学館
北井 礼三郎	Reizaburo Kitai	立命館大学
君山 寿美恵	Sumie Kimiyama	GOTO imageworks株式会社
久保田 和男		長野高専
甲田 昌樹	Masaki Kouda	青森県
小谷 太郎	Taro Kotani	東京家政学院大学
小林 道生	Michio Kobayashi	
今野 利秋	Toshiaki Konno	日本天文教育普及研究会
昆 愛	Ai Kon	

作花 一志	Kazushi Sakka	京都情報大学院大学
猿山 直美	Naomi Saruyama	岩波書店編集部
清水 智	Tomo Shimizu	
神羽 麻紀	Maki Jimba	
鋤柄 司	Tsukasa Sukigara	つかさ法律事務所
高橋 あやの	Ayano Takahashi	大東文化大学 非常勤講師
竹迫 忍	Shinobu Takesako	日本数学史学会
武内 可夏子	Kanako Takeuchi	株式会社勉誠社
田島 由起子	Yukiko Tajima	自然教育事務所 宙
田中 良明		大東文化大学東洋研究所
田中 慎悟	Shingo Tanaka	NPO法人 人と自然の会
田村 隆幸	Takayuki Tamura	ISAS
丹野 佳代子	Kayoko Tanno	福岡市科学館
戸田 博之	Hiroyuki Toda	京都大学岡山天文台
友利 健	Takeshi Tomori	
内藤 誠一郎	Seiichiro Naito	国立天文台
永原 順子	Junko Nagahara	大阪大学人文学研究科
長岡 伶奈	Rena Nagaoka	
並木 優子	Yuko Namiki	Astrolab
成瀬 裕子	Yuko Naruse	多摩六都科学館
成瀬 日月	Akira Naruse	東京大学天文学教育研究センター
西尾 元伸		帝塚山大学
新田 伸也	Shin-ya Nitta	筑波技術大学
服部 誠	Makoto Hattori	東北大学大学院理学研究科天文学専攻
濱田 悦生	Etsuo Hamada	大阪工業大学 情報科学部 ID科
原 智子	Tomoko HARA	F A S 府中天文同好会
板東 義隆	Yoshitaka Bando	放送大学大学院
広橋 勝	Masaru Hirohashi	Astrolab/Polano LLC
福江 慧	Kei Fukue	滋賀医科大学
藤原 康徳	Yasunori Fujiwara	日本流星研究会 日本天文同好会
古屋 昌美	Masami Furuya	さじアストロパーク/向日市天文館
松岡 義一	Yoshikazu Matsuoka	東亜天文学会 / 天文教育普及研究会(一般普及)
松永 恵実	Emi Matsunaga	武蔵野美術大学大学院
三代木 伸二	Shinji Miyoki	東京大学宇宙線研究所
森 融	Toru Mori	八王子市こども科学館
矢浦 晶子	Akiko Yaura	放送大学
山下 浩平	Kouhei Yamashita	日本天文学会・東亜天文学会
山根 弘也	Hironari Yamane	呉市かまがり天体観測館
山田 将俊	Masatoshi Yamada	札幌市青少年科学館天文指導員
山崎 尊子	Takako Yamasaki	
米谷 夏樹	Natsuki Yonetani	国立天文台
渡部 潤一	Junichi Watanabe	自然科学研究機構国立天文台

大阪工業大学 梅田キャンパス (OIT梅田タワー) へのアクセス

<https://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>



所在地：大阪市北区茶屋町1番45号

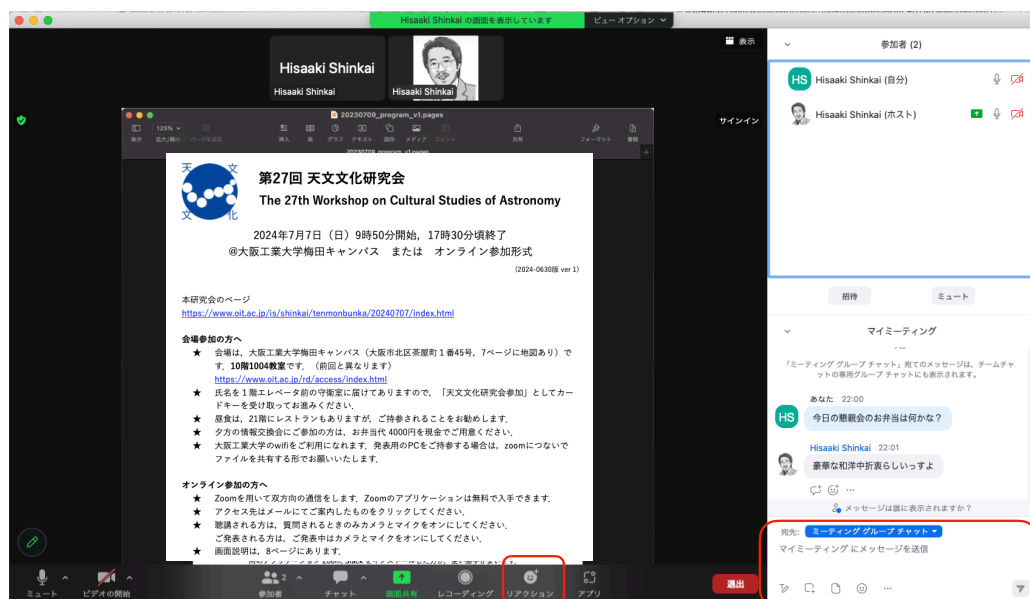
- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- 阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分
- 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分
- 【地下街からのアクセス（地下街直結）】

ホワイトティうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビルH-2方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。（JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。）

★入構時は、守衛室にて「天文文化研究会参加」としてご氏名をいただければ、入構に必要なカード・キーが渡されるようにしておきます。

★会場は10階1004教室 です。

Zoomの画面 (Macintoshの場合)



(1)マイクのon/off
(2)自分のカメラのon/off

(3)参加者一覧を

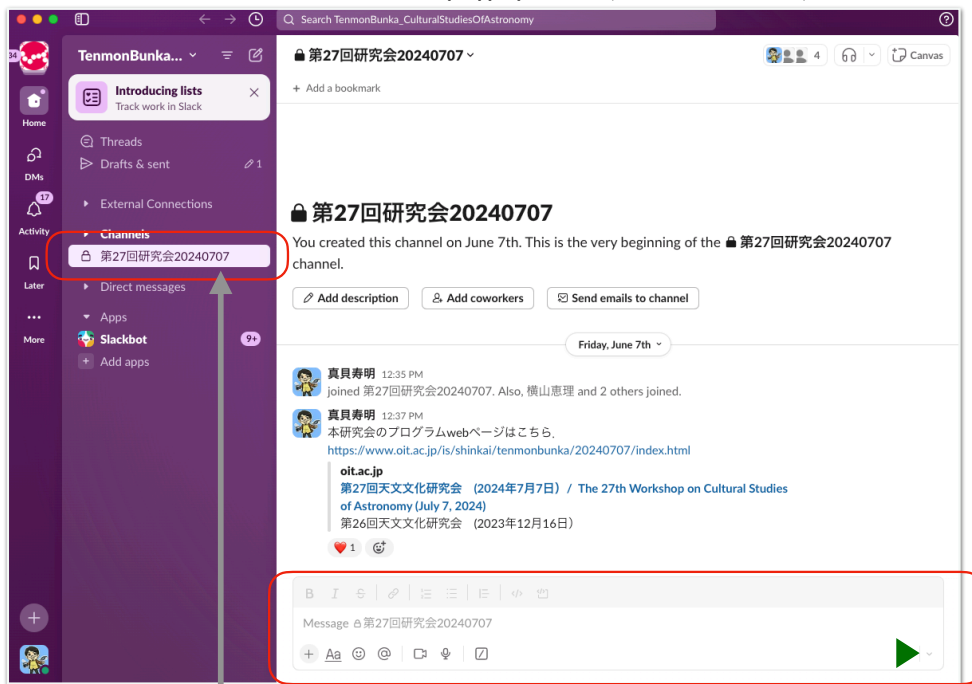
右に表示

(4)チャット欄を
右に表示

(5)手を挙げるマークを出したり、
拍手ボタンを押したりする。

(6)チャットを書き込む

Slackの画面 (Macintoshの場合)



チャンネルといいます。
第27回天文文化研究会20240707 へどうぞ

ここにコメントを書いて、緑の三角ボタンを押すと
投稿されます。あとから修正もできます。

ご案内

これまでの研究会の記録は

<https://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/workshop.html>

にてご覧いただけます。

ご案内

情報交換用にメーリングリストを作っております。

tenmon-bunka_AT_googlegroups.com

会員間の情報共有、本研究会のご案内などに利用しております。登録ご希望の方は、

真貝(hisaaki.shinkai_AT_oit.ac.jp)または横山(eri.yokoyama_AT_oit.ac.jp)までお知らせください。

ご案内

松浦清・真貝寿明 編『天文文化学序説—分野横断的にみる歴史と科学』

(思文閣出版, 2021年12月20日刊行, 定価 10,450円(税込), ISBN 978-4-7842-2020-5

<https://www.shibunkaku.co.jp/publishing/list/9784784220205/>

絶賛発売中。研究会参加者は、思文閣さんへの直接購入申し込みで20%引き!!

松浦清・真貝寿明 編『天文文化学の視点(仮)』

(勉誠社, 2024年12月刊行予定)

絶賛編集集中。アジア遊学シリーズの1冊として。

ご案内

次回の研究会は、2024年12月 を予定しています。